

## トピックス

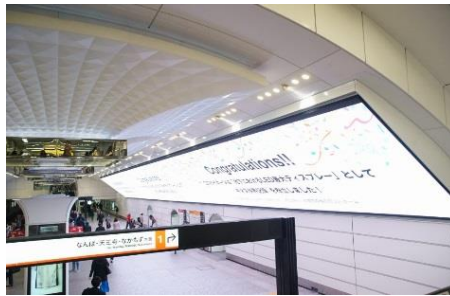
## ■【大阪メトロ】ギネス記録！！大阪メトロから地下最大LEDモニター稼働開始！！！！

大阪メトロは30日、地下空間での世界最大の発光ダイオード（LED）モニター「**Umeda Metro Vision（ウメダメトロビジョン）**」の運用開始に先立ち、設置場所の大阪市北区の地下鉄御堂筋線梅田駅ホームで報道関係者向けの内覧会を開催した。

大きさは横40メートル、縦4メートル。ギネス世界記録を申請しており、実際のモニター設置場所で公式認定員から認定書を授与された。

大阪メトロ 大矢執行役員は「メトロで一番利用の多い駅。多くの人が出会う、大阪の新名所になれば」と笑顔で話した。

12月2日から運用がスタートし、大阪メトロ利用者が写真を撮る姿が目立ち、SNSでも話題を呼んでいる。



## ■【大阪メトロ】大阪メトロが顔パスに！？！？

大阪メトロは10日、登録済みの顔写真と一致すれば駅の改札を通れる「**顔認証**」の実証実験を始める。**大阪市内4駅（ドーム前千代崎・森ノ宮・動物園前・大国町）**に専用の改札機をおき、あくまでメトロ社員を対象に来年9月末まで続ける。2025年に開かれる大阪 関西万博開催までに課題をなくしたうえで、全駅での導入をめざす。

大阪メトロによると、鉄道事業で顔認証の実証実験をするのは海外では中国で事例があるものの、国内では初めてという。

長堀鶴見緑地線「ドーム前千代崎駅」で9日、顔認証の様子が報道陣に公開された。社員が改札ゲートに入ると、奥に備えつけたカメラが、目や鼻といった位置や輪郭などの特徴を数秒で判別。事前に登録した顔写真と同じだと認識されれば、モニター画面に「OK」と表示されて扉が開く。

ただ、マスクをつけて通る場合、鼻まで覆うと判別できないなど課題もある。実証を進めながら認証がスムーズに出来るよう改善予定だ。

## ■【キタエリア】JR大阪駅西側で大規模開発

JR西日本（大阪市北区）は2020年～2027年春、**大阪駅の西側で大規模開発を進める計画を発表した。**

これは、日本郵便や大阪ターミナルビル、JT&共同で行なう、旧大阪中央郵便局の敷地を含む大阪駅西地区の開発と連動したもので、JR西日本では、駅の混雑緩和、新たなバリアフリールートの整備、西側地区へのアクセス性向上、周辺地区との回遊性向上、地区全体のさらなる価値向上を図るため、新改札口の整備や高架下開発、新駅ビル開発を柱とする計画のようだ。

計画の概要によると、新改札口は西側高架下に設置され、各ホームへアクセス可能な構造となる。同時に大阪環状線用のホームが西側へ延長され、ホーム上の設備を高架下へ移転集約させ、利用スペースを拡大するとしている。

なお、新改札口の整備などに伴ない、「梅三小路」や「アルビアウトドア」といった既存の商業施設は閉鎖される。

## ■【キタエリア】ホワイトティウめだ 泉の広場リニューアルオープン！！！！

「ホワイトティウめだ」を運営する大阪地下街(株)は、2019年12月5日（木）に「泉の広場」をリニューアルオープンした。

噴水跡地には、新しいシンボル「**WATER TREE**」が設置され、LEDで床面を水面のように演出している。

また、泉の広場リニューアルにあわせて地下街の飲食スペースも大幅に新しくなった。泉の広場から北に延びる「NOMOKA」ゾーン。“ちょっと飲みか！”にかけて気軽に立ち寄れることをコンセプトとし、カウンター中心の店舗が並ぶ。

「泉の広場ゾーン」「NOMOKAゾーン」「扇町ゾーン」合わせて35店舗がオープンとなった。



▲顔認証システム改札



▲再開発計画地



▲新改札に隣接される新駅ビルイメージ



▲新しくなった泉の広場